

る商品が選びやすくなっ
た。

また3年目の県産品「と
ちぎマルシェ」は、蜂蜜、
ゆば、パン、ワイン、コー
ヒー・お茶、ヘルス&ビュ
ーティーなどを独立させ、

カテゴリ数を24に細分化
し、商品数も季節商品を含
め延べ1千点超に増やして
いる。

2019年度は、茨城県、
群馬県の県産品コーナーも
立ち上げる方針だ。

建設 中里の佐野 水道管洗浄技術 途上国で調査へ JICA案件化に採択

国際協力機構（JICA）
の中小企業海外展開支援事
業の本年度第1回公示で、
中里建設（佐野市栃本町、
中里聡社長）が「案件化
調査」に採択され、技術実

演などが27日、同社で行わ
れた。自社開発した水道管
内洗浄技術の海外展開を見
据え、インドネシアで来年
1年間、調査を行う。
同事業は中小企業の海外

展開を支援し、途上国の課
題解決を目指す。県内企業
の採択は2件目。案件化調
査では、途上国の開発ニ
ズと日本の中小企業の優れ
た技術などをマッチングす

る。同社は近年、施設洗浄
など水理事業に注力してお
り、水道管内洗浄技術・ア
クアピグ工法で、特許を取
得した。
同工法は、圧縮・復元性



洗浄具のアクアピグを手にする中里社長と、管
内を低速で通過中の同洗浄具（手前）＝27日午
後、佐野市

とちぎロボットフォーラム

本県ロボット産業の振興
を図るとちぎロボットフォ
ーラムは27日、宇都宮市の

する。
試作を進めるのは、宇大
の尾崎功一教授の研究室が
開発した「NENA（ニー
ナ）」の2号機。人が座つ

に優れた発泡ウレタン製の
洗浄具・アクアピグを水道
管内に水圧で送り込み、「汚
れを優しくまんべんなく拭
き取る」（中里社長）。新
管敷設よりも費用を抑えら
れるといった利点がある。
国内では今年3月までに、
佐野市など県内外で36件の
施工実績を持つ。
今回、調査先のインドネ
シア・ブカシ市では、同工
法が現地で適合するかを探
る。同国では、水道管内の
付着物増加による供給能力
低下などが課題という。
この日は、同社実験施設
の管内を通過させる実演が
行われた。中里社長は「途
上国支援に加え、海外での
事業展開に活路を見いださ
たい。将来的には1国当た
り約1億円を売り上げた
い」と話した。
（田面木千香）